

第六回コラボ実践コンテスト 小学校・中学校部門 アピールシート

平成 年 月 日

所属名 : 千葉県 長南町立 西小学校

実践学年組: 6年 1組

氏名: 伊藤 大夢

教科	総合
実践期間	2016年 10月 1日 ~ 12月 1日
実践タイトル (35文字以内) (C) 鎌倉校外学習を通して	
実践の目的 事前学習段階でより多くの現地でしか分からない、有益な情報を共有する	
実践のポイント・工夫 長南町には4校の小学校があり、校外学習は全校鎌倉だが別々の日程で実施する。先に行った学校の情報を共有する事で2校目以降の学校がより深い学びになるように共有した。また1校目の生徒も他の児童に伝える視点を持って現地で取材を行った。	
実践内容 (簡単に) 校外学習先である鎌倉の地図をコラボノート上にはり、地図の上に気づいた事を写真や付箋を使って他校と共有する。 質問があれば質問のやり取りも別のページで行う。	

(コラボノートを) 使用してよかった点を教えてください。
離れた学校同士でも意見を見る事ができる。
リアルタイムも出来るが、非同期での交流が出来るので無理なく続けることができた。

第六回 みんなで参加する コラボ実践コンテスト

長南町立西小学校 長南町立東小学校 長南町立豊栄小学校 長南町立長南小学校

テーマ

I C Tを活用した町内4小学校間の協働学習

— 第6学年鎌倉校外学習を通して —

1 設定理由

本町の4小学校の6年生は毎年、社会科と総合的な学習の時間の一環として、それぞれが別々に鎌倉校外学習を実施している。事前に鎌倉の歴史や文化、地域の様子について調べ学習をし、グループごとに現地での学習計画を立て、実際に鎌倉を訪れる。

本校を含む4小学校は規模が小さく、各学校の6年生の児童数も11～16名と少ない。そのため、今年度で閉校し、来年度から町内の4小学校が統合し、併設型小中学校として新たにスタートする。

本校では、6年生14名を3グループに分け、鎌倉校外学習を進めた。しかし、校外学習当日の時間も限られており、1つのグループが訪問できる場所には限りがあり、少人数の学級では、調べた場所全てを訪問することは難しい。

そこで、このような小規模校の課題を解決し、遠方での校外学習を効率的に進めるために、本主題を設定し、I C Tを効果的に活用した4校間での情報・意見交換、情報共有を行う協働学習に取り組んだ。

2 研究仮説

仮説1： インターネットを活用し、4校の児童が情報や意見を交換し合うことで、小規模校の人数的な課題を克服し、学習内容をより広めたり、深めたりすることができるであろう。

仮説2： 4校が同じI C Tを活用した学習を行うことで、統合・進学した際の児童間のI C T活用能力の差を減少させることができるであろう。

3 研究内容

研究主題に迫るために、以下の内容で研究を進めた。

(1) 4校の協働学習

町内の4小学校が鎌倉校外学習に行った際の情報について、インターネットを通して共有したり、質問や意見を交換し、教え合ったりすることで、それらの情報を生かして計画を立てたり、まとめの新聞作りに役立てたりする。

(2) I C Tの活用

協働学習ソフトを使い、インターネットを通して質問や意見を交換したり、鎌倉の情報を共有する資料やまとめの新聞を作ったりする。

4 研究実践

(1) 4校間の活動計画

○西小

- 6月 7日 (火) ・ ・ ・ 西小 鎌倉校外学習
- 6月 8日 (水) ～ 13日 (月) ・ ・ ・ 西小 資料作成
- 6月 14日 (火) ～ 15日 (水) ・ ・ ・ 西小の資料を見て、長南小、豊栄小、東小が質問、意見、感想を書き込む
- 6月 15日 (水) ・ ・ ・ 西小から各校の質問等に対して返答する

○東小

- 6月 17日 (金) ・ ・ ・ 東小 鎌倉校外学習
- 6月 20日 (月) ～ 30日 (木) ・ ・ ・ 東小 資料作成
- 7月 1日 (金) ～ 3日 (月) ・ ・ ・ 東小の資料を見て、長南小、豊栄小、西小が質問、意見、感想を書き込む
- 7月 4日 (火) ・ ・ ・ 東小から各校の質問等に対して返答する

○豊栄小

- 6月 22日 (水) ・ ・ ・ 豊栄小 鎌倉校外学習
- 6月 23日 (木) ～ 7月 6日 (水) ・ ・ ・ 豊栄小 資料作成
- 7月 7日 (木) ～ 8日 (金) ・ ・ ・ 豊栄小の資料を見て、長南小、東小、西小が質問、意見、感想を書き込む
- 7月 11日 (月) ・ ・ ・ 豊栄小から各校の質問等に対して返答する

○長南小

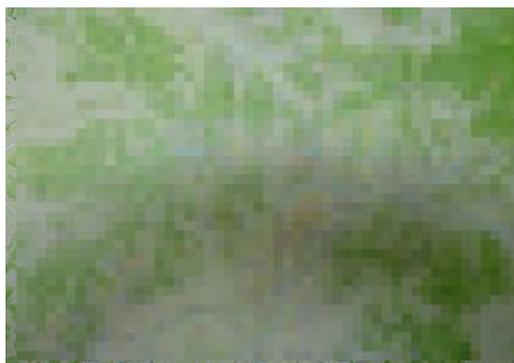
- 7月 4日 (月) ・ ・ ・ 長南小 鎌倉校外学習
- 7月 5日 (火) ～ 20日 (水) ・ ・ ・ 長南小 資料作成
- 9月 1日 (木) ～ 6日 (火) ・ ・ ・ 長南小の資料を見て、豊栄小、東小、西小が質問、意見、感想を書き込む
- 9月 7日 (水) ・ ・ ・ 長南小から各校の質問等に対して返答する

(2) 実践内容

①資料作成から意見交換まで

a 協働学習ソフトに貼り付けた鎌倉市の地図をもとに資料の作成方法を説明する。

授業の初めに、鎌倉市の地図を貼り付けたシートをグループ数用意し、それをもとに資料作成の仕方について説明し、操作させることで、活動内容や操作方法を理解した。



b 児童が地図に画像を貼り付けたり，説明を書き込んだりして資料を作成する。

訪れた場所についての説明をするために，教職員や児童が撮影した写真から必要なものを選んで貼り付け，説明やアドバイスを書き込んだ。



c 町内の4小学校それぞれが作成した資料をインターネットを通して各小学校に公開する。

訪れることができなかった場所についても，写真や説明があることでどのような場所であるか理解することができた。



長南町立東小学校



長南町立豊栄小学校

d 各小学校の児童が訪れた場所について情報や意見を交換し合い，鎌倉について理解を深め合う。

【意見交換のきまり】

- ・ 意見交換の際は，質問を「赤色の付箋」，意見・感想を「青色の付箋」，質問，意見・感想に対する返事を「黄色の付箋」で統一する。
- ・ 意見交換の際，資料に付箋を貼り付けず，資料ごとに意見交換用のシートを設けてそこで意見交換を行うようにする。

鎌倉校外学習に行ってきた小学校にとっては，他校に知らせておきたいことや参考にしてほしいことを書き込むことができる。また，これから鎌倉校外学習に行く小学校にとっては，資料や意見交換を参考にして，計画を立てることができる。町内の全

ての小学校間で意見交換を行うことで、交流を深めると共に、各小学校の鎌倉についての理解も深まった。



②これまでの学習で意見交換を基にした新聞作りと発表

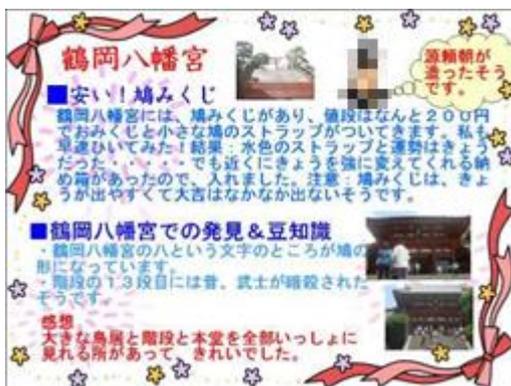
a 鎌倉校外学習で訪れた場所についての説明や学んだことを個人で新聞にまとめる。

鎌倉校外学習前に調べ学習を行い、校外学習を通して、どのような場所であったかやどんなことを知ることができたかを協働学習ソフトに書き込み、個人で新聞を作成した。

西小児童の新聞



東小児童の新聞



- b 鎌倉校外学習で訪れた場所についての説明や学んだことをグループで新聞にまとめる。
グループごとにどのような新聞にするか話し合い、協働学習ソフトを使って新聞にまとめる。まとめたものを町内の各小学校に公開する。



- c 学級内や下学年に発表をする。

グループで作成した新聞をタブレットPCと電子黒板を使って他のグループや下級生に発表した。グループ間での発表では、訪れなかった場所についても知識を得ることができ、鎌倉について理解を深めることができた。また、下学年への発表では、次年度に向けての意欲付けを行うことができた。



5 仮説の検証

仮説 1

高学年では、画像を取り入れた資料や新聞の作成、外部との通信が可能のため、今回、町内の4小学校間でインターネットを通じた協働学習を行った。単学級で学習するよりも児童数が増えたことで活発な情報や意見の交換ができた。さらに、他校の児童と共通の話題に関して説明や意見交換をし合ったことで、交流を深めると共に、鎌倉に関して、訪れることができなかつた場所についても知ることができた。さらに、学習のまとめでは、他校の意見を参考にすることで、より詳しくまとめることができた。

他校への移動の手間もなく、学習時間を確保することができた。また、授業中の発表で、意見を述べるのが苦手な児童も戸惑うことなく自分の考えを画面上で表現できるため、活発な意見交換の中、意欲的に活動に取り組むことができた。

仮説2

今回の学習では、資料作りや新聞作りの全てにおいて、町内の4小学校の6年生児童一人一人がパソコンを活用して学習を行った。それにより、各小学校の児童が文字入力や画像の貼り付け方を理解するとともに、ICT操作技能向上の時間を十分に確保することができた。そのため、統合・進学に向けて、児童間のICT活用能力の差を減少させることができた。

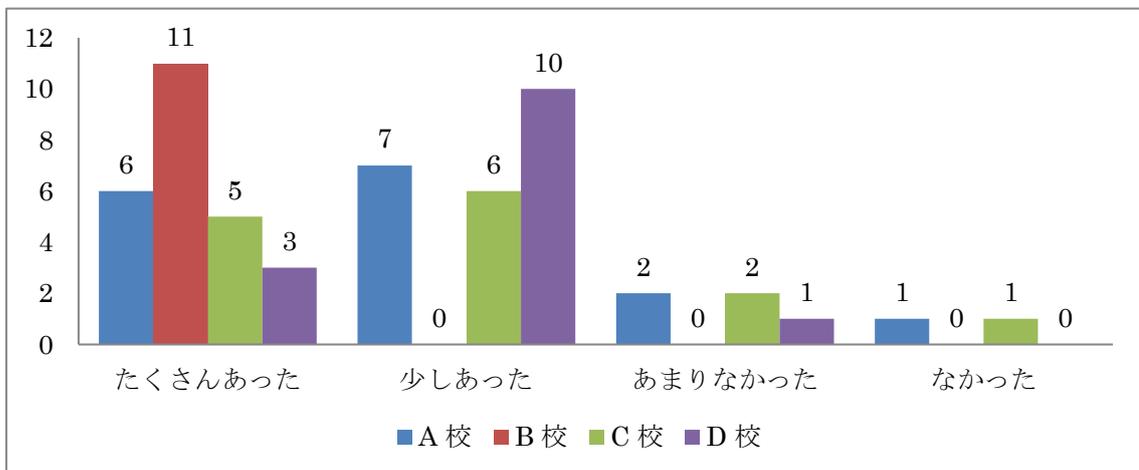
6 課題

- ・ 他校の児童と情報交換をする際に、学習内容に関係のないことが含まれていたため、事前に各学校の担任間で学習のねらいを共有し、学習のねらいに沿った情報交換をする必要がある。
- ・ 6年生でキーボードでのローマ字入力、画像の貼り付け、ICT機器を使った発表を行うために、1年生から発達段階に応じてICT機器を操作する時間を指導計画の中に位置づけておく必要がある。特に、ローマ字入力の習得には時間がかかるため、繰り返しの練習が必要となる。

7 資料

町内4小学校の児童へのアンケート

①他の3校の資料を見たり、意見交換をしたりして、自分達の学習に役立ったことはありましたか。



【理由】

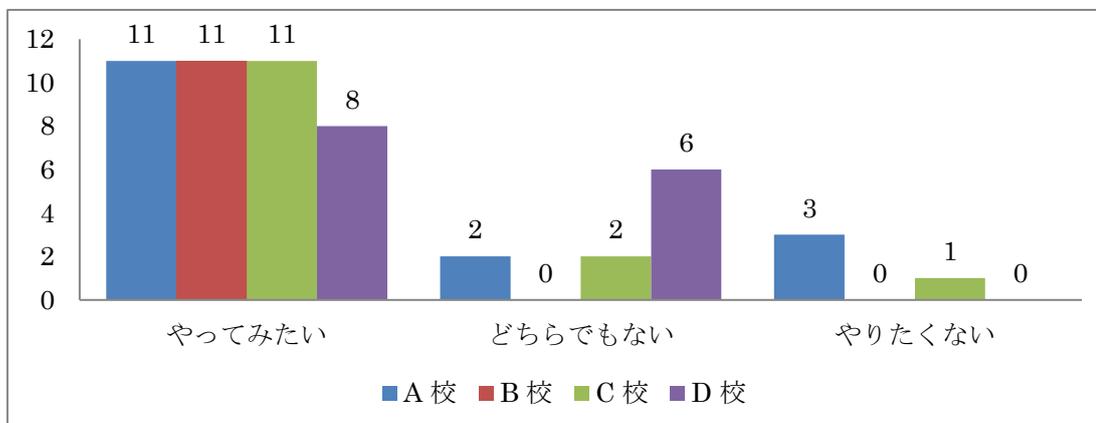
○たくさんあった／少しあった

- ・ 他の3校の人がたくさん教えてくれ、鎌倉に行くのが楽しみになった。いろいろな意見をもとに、さらに調べることができた。
- ・ 他の学校から自分達が行かなかった場所のよさを教えてもらい、自分達だけが行った場所のよさを教えることができた。
- ・ 他の学校の資料を見て、自分達が鎌倉に行く計画の参考にすることができた。

○あまりなかった／なかった

- ・ 他の学校は、自分達の班が行く場所以外を書いているところが多かった。
- ・ 質問をしても返事が返ってくるのが遅く、計画立てに役立たないところがあった。

②今回の学習のように、パソコンを使って他の学校の人と情報交換をする学習をまたやってみてみたいと思いますか。



【理由】

○やってみみたい

- ・ 自分の知らないことが書いてあると学習に役立つ。
- ・ いろいろな人達と情報交換ができ、他校の様子について知ることができた。
- ・ 他校の人と交流でき、教え合うことができる。

○どちらでもない

- ・ 他校の人と意見交換をしたいが、自分の意見について、相手がどのように感じているか不安。
- ・ 情報交換をするのは楽しかったが、学習の話題ではないことがあった。
- ・ 他校の意見を聞けるのは良いが、パソコンの操作に時間がかかる。

○やりたくない

- ・ 他校に情報を送るとそれに対して返す必要があり、迷惑がかかる。
- ・ キーボードを打つのが得意ではない。

8 使用したICT機器, ソフトウェア

○西小学校

- ・ 電子黒板 ・ タブレットPC ・ コラボノート (協働学習ソフト)

○他の3校

- ・ パソコン ・ コラボノート (協働学習ソフト) ・ ジャストスマイル (発表ソフト)